



福井商工会議所

こちら デジタル活用  
ビジネス支援センター

# 実践的な学びが満載!

「手を動かして学べる」  
デジタル化ハンズオンセミナーを  
開催しました!

生成AIを活用した  
業務効率化  
ワークショップ




訴求力アップ!  
Canva活用セミナー

2024年2月に「自分でつくるDX! 生成AIを活用した業務効率化ワークショップ」と「訴求力アップ! Canva活用セミナー」を開催しました。事務局スタッフも実際に手を動かしながら受講しましたので、今回はその体験記も織り交ぜながら紹介します。

## 生成AIを活用した 業務効率化ワークショップ

2月21日(水)に開催したワークショップは、dot studio(株)代表取締役の菅原のびすけ氏を講師にお招きし、19社23名の方に参加いただきました。



講師の菅原のびすけ氏。プロトタイプング専門スクール「プロトアウトスタジオ」のプロデューサーとしても活躍しています。

有料版ChatGPTの自社業務

への応用をテーマに、デジタルツールを自分でつくる感覚を養うため、次の2つの方法に挑戦しました。1つは「GPTs」です。これは、自分でカスタマイズして業務や特定の領域に特化したGPTを作れるサービスです。例えば、PDFやExcelなどのデータを読み込ませて、それらのデータをもとにGPTが回答するといった仕組みです。もう1つは「API連携」です。GoogleスプレッドシートやLINEなどの外部のアプリやソフトウェアと連動させ、チャットボットの構築やEメールの文章作成・要約などができる仕組みです。

## いざ実践! 「自分でつくるDX」

受講者の中にはGPTsを活用して、社内規定や社内ルールのQ&Aができるチャットボットや、顧客からの問い合わせに自動応答するツールを試作する方もいました。一方、事務局では、メールの返信文案を自動で生成する仕組みづくりに挑戦しました。ChatGPTとアプリ

ケーション同士を連携させる「Make」と呼ばれるツールでAPI連携を試したところ、残念ながら時間内に作成することはできませんでしたが、デジタルツールを「自分でつくる」ことが想像以上に簡単なプロセスで出来ると感じました。



講師に質問したり、周囲の参加者と協力しながらデジタルツールの作成に挑みました。

最後に講師は「いろいろ試してみるとつまづくことも多いと思うが、どのように活用するかを考えながら手を動かすことがとても重要」と受講者にエールを送りワークショップを終えました。

## SNSやチラシを 素早くオシャレに！

2月26日(月)に開催したCanva活用セミナーでは、25社30名の方に参加いただきました。「Canva」は、オンラインで利用できるデザインツールです。多様な機能と豊富なテンプレートや素材が備わっており、SNSやポスター、チラシ、プレゼン資料等さまざまなデザインを作成することができます。

講師は、企業でデザイン設計や広告・宣伝に携わってきたジャイロ総合コンサルティング(株)の相原宏美氏が務めました。

セミナーではCanvaの基本操作に始まり、コンテンツ別の投稿内容やテンプレートの選び方、広報業務の負担軽減のポイントなどを学んだ後、実際にコンテンツ作成に取り組みました。

相原氏からは「SNSユーザーは、わずか数秒で投稿内容を閲覧していることを常に意識すべき」と解説がありました。そのため投稿素材やチラシの作成においては、閲覧者が読み込むのではなく、パッと見て分かるものを作る事が重要となります。



講師の相原宏美氏。中学校美術の教員免許を持っており、デザインの技術的指導も受けることができました。

### 大事な点は、 「デザインしよう」としないこと！

数秒の閲覧だけで投稿内容を理解してもらうには、デザインしようと思わないことがポイントです。「デザインしよう」としないとは、「Canvaに掲載されているテンプレートの形を崩さず、文字を置き換えるなどして作成すること」です。これが結果的にスッキリしたデザインになり、業務負担軽減にも繋がります。これを繰り返すことで効率的な投稿を継続できるようになります。

セミナー後半では、参加者は各自でSNSの投稿素材やチラシ作成に取り組みました。下記は事務局スタッフが作成にチャレンジしたチラシです。

シです。左は過去に1時間近くかけて作成したもので、右は今回のセミナーで作成したチラシとなります。テンプレートを極力崩さず文字を入れ替えただけで、シンプルで見やすいチラシを20分程度で作成することができました。



文字のバランスや情報が整理され、全体的にまとまりのある見やすいチラシになりました。

れました。

最後に講師は、Canvaを業務に活かすには「自社・自店の強みを打ち出した統一デザインをつくり、様々な媒体に活用することで業務の効率化を図ることが重要だ」と締めくくりました。

今回の企画では、事務局スタッフも実際にツールに触れながら学んだことで、もっとこんな風に見えるのでは、という可能性を感じることができました。また、何が使えるか使ってみないと分からない点に改めて気づかされました。

当所では、今後もデジタル化に関するセミナーや、ツール体験企画を開催していきます。皆様も是非デジタル化の第一歩として、ツールを使ってみることに始めてみてください。

本件に関するお問合せ先

福井商工会議所  
産業技術・DX  
推進課

0776-33-8252

デジタル活用  
ビジネス支援  
センターHP  
はコチラ

